

項目	背景等	現状	課題
森林の保全・再生	<ul style="list-style-type: none"> 木材価格の低迷により、森林管理への意欲は大きく低下している 土砂条例等による規制 森林経営管理制度の構築や森林環境譲与税の創設 気候変動や大規模な自然災害の増加 持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みへの関心の高まり 脱炭素社会の実現 スギやヒノキによる花粉症の発生 	<ul style="list-style-type: none"> 荒廃した人工林は増大している 境界が不明瞭な箇所、所有者の特定が困難な森林が多い 近年、集中豪雨により林道の被災が発生している 松くい虫による被害は平成24年度をピークに減少傾向 不法投棄は依然として発生している 林地開発や林地への土捨ては減少している 適切な経営管理が行われていない森林の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 荒廃森林の再生 針広混交林化など多様な森林整備 森林境界の明確化の促進 林道や林地の土砂災害防止対策の充実 市民による森林保全活動の促進 抵抗性松苗の植林など地域等と共働して取り組み 地域と連携した不法投棄等の監視体制の強化 森林による二酸化炭素吸収量の認証とカーボンオフセットへの活用 森林所有者に対する意向調査の確実な実施及び適切な経営管理の推進 伐期齢のスギ・ヒノキ林を伐採し、花粉症対策苗木や広葉樹などへの植え替え促進
市民とつながる森林づくり	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止機能など公益的機能の発揮に対する期待が高まっている 地域における里山管理への意欲が低下している 森林浴等による心身へのリフレッシュや癒し効果などへの関心や期待が高まっている(健康志向) 福岡市は地理的条件から水資源に恵まれていない 	<ul style="list-style-type: none"> 管理不足の里山は増大している 油山市民の森の利用者は17万人台で推移 多くの水源を市外に頼っている 	<ul style="list-style-type: none"> 市民(地域)による里山等の再生と活用 森林環境教育への活用と充実 森林での作業体験 油山市民の森等リニューアル 森林(市外の水源涵養林も含む)、川、海のつながりを意識させる取り組み
森林資源活用に向けた基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> 木材価格の低迷により、経営意欲は大きく低下している 高性能作業機械の導入等による生産コストの低減が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> 路網(林道、作業道)密度は約20m/haと県の目標林道密度より高い 路網は老朽化している 森林所有者など地域での路網の維持管理が困難となっている 作業車両が大型化してきている 	<ul style="list-style-type: none"> 作業車両の大型化に対応した路網整備 高性能林業機械を含む機械化に対応した路網整備 集約化施業計画(策定予定)にリンクした路網計画の策定 路網の維持管理に対する地域の協力体制の再構築 路網の維持管理費用の確保 路網整備に関する森林組合との連携、協力
持続可能な林業経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> 採算性の低下に伴い、就業意欲は大きく低下している 従事者の就労環境は厳しい 木材価格の低迷により、経営意欲は大きく低下している 所有面積は5ha未満の小規模経営がほとんどである 木材需要と輸入は減少している(自給率は上昇) 公共建築物利用促進法の制定 戦後造林された人工林を中心に蓄積量が増加している 木材利用は都市の中に炭素を固定する役割を担っている 	<ul style="list-style-type: none"> 後継者はほとんどいない 所有林の境界や場所を知らない後継者は増加している 20ha以上の経営規模でも林家所得は僅かであり、経営として成り立っていない 伐期齢に達した森林は年々増大しているが、それに見合うだけの主伐は実施されていない 木材を利用することが、地球温暖化防止などにつながるということが十分に理解されていない 平成25年「福岡市内の公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を策定 令和元年度に「福岡市公共建築物等木材利用ガイドライン」を策定 	<ul style="list-style-type: none"> 後継者の育成 新たな従事者の確保(多様な林業との関わり方の可能性検討) 施業プランナーの育成 集約化施業計画の策定と提案型施業への転換 高性能林業機械等の導入による効率化 長伐期化施業による切捨間伐から利用間伐への転換 森林の持続的サイクルを保つための伐採から再造林の促進 公共建築物等への地域産材の利用推進 民間建築物への地域産材の利用促進 木質バイオマス利用の検討 市民への木材利用PR